

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。  
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続  
のお取り扱いを行っております。

# NEWアダージオHG

変額個人年金保険Ⅱ型2003

<自由選択コース>

## 特別勘定の月次運用レポート

2024年2月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

### 変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

- 変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- 受取総額が一時払保険料相当額を下回ること(元本割れリスク)があります。
- 保険関係費用:ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.10%の割合で資産残高から毎日控除されます。
- 運用関係費用:ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.21%(税抜1.10%)程度の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
- 年金管理費:年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
- 解約控除:ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約(特別引出を除く)をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%~1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。  
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

\*この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費)」」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。  
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。  
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[募集代理店]  
株式会社広島銀行

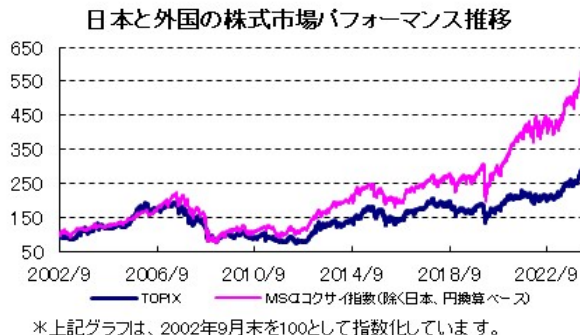
[引受保険会社]  
オリックス生命保険株式会社

2403広告審査済

(管)ORI-062

# 市場概況

代表的な指標の騰落率		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	7.94%	16.96%	20.07%	42.71%	35.21%
	TOPIX(東証株価指数)	4.89%	12.67%	14.74%	34.24%	43.51%
日本債券	NOMURA-BPI総合	0.32%	0.01%	▲ 0.23%	▲ 0.72%	▲ 4.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	4.71%	12.85%	14.32%	34.84%	73.35%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	1.24%	3.10%	5.53%	15.39%	17.55%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	2.11%	2.45%	3.06%	10.52%	41.81%



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

## 特別勘定(ファンド)グループ

### 特別勘定と投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計 (百万円)
	株式		債券				投資信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式ファンド SR	●				シュローダー日本株式オープンVA*	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	96.2%	3.8%	205
日本株式インデックス ファンド225 NKA	●				インデックスファンド225 VA*	日興アセットマネジメント株式会社	96.8%	3.2%	1,786
外国株式インデックス ファンド MS		●			インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンド	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社	99.4%	0.6%	4
アジア株式ファンド JP		●			GIMアジア株・アクティブ・オープンVA*	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	99.4%	0.6%	9
外国債券ファンド PJ				●	ピムコ・海外債券ファンド*	ピムコ ジャパン リミテッド	99.0%	1.0%	254
外国債券インデックス ファンド TMY				●	三菱UFJ 外国債券ファンドVA2*	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	99.1%	0.9%	27
マネー MA			●		三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	150

\* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

### 投資信託の運用方針

投資対象の投資信託	運用方針
シュローダー日本株式オープンVA*	主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を上回る投資成果の獲得を目指します。
インデックスファンド225 VA*	主に日本株式に投資することによって、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。
インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンド	主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動した投資成果を目指します。
GIMアジア株・アクティブ・オープンVA*	主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCIオール・カンントリー・ファーイースト・フリー・インデックス(除く日本、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。
ピムコ・海外債券ファンド*	主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2*	主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。
三菱 MRF (マネー・リザーブ・ファンド)	主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

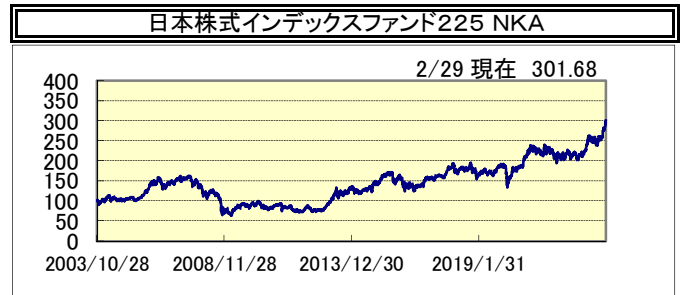
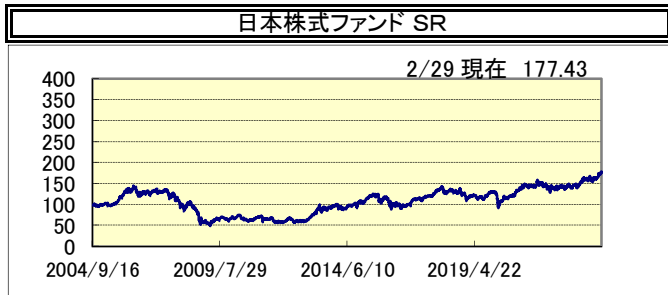
\* 適格機関投資家専用設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

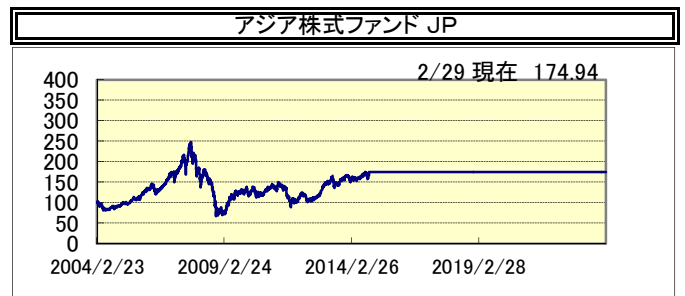
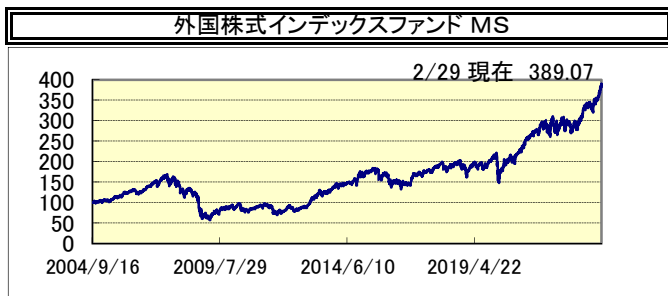
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



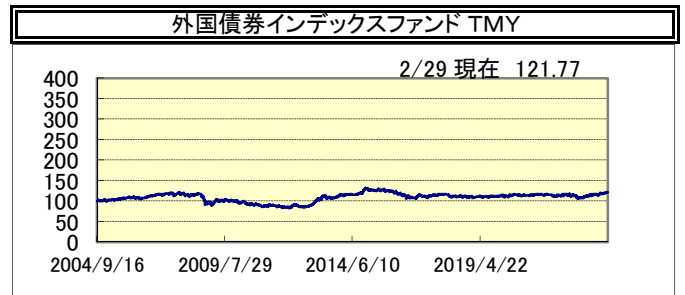
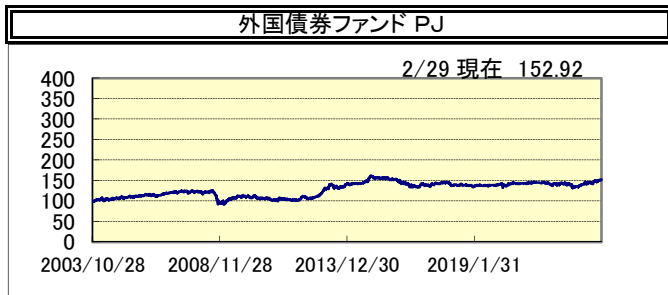
期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
期間収益率	1.73%	7.25%	9.01%	21.09%	27.76%	77.43%

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
期間収益率	7.56%	15.93%	19.07%	40.67%	32.09%	201.68%



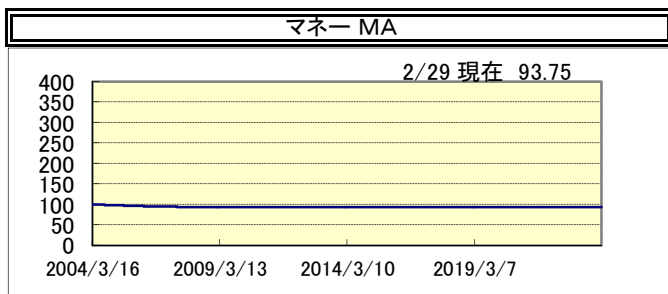
期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
期間収益率	4.54%	12.23%	13.31%	32.57%	66.09%	289.07%

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
期間収益率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	74.94%



期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
期間収益率	1.00%	2.62%	4.65%	12.41%	6.98%	52.92%

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
期間収益率	1.07%	2.48%	3.62%	11.58%	7.68%	21.77%



期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
期間収益率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-6.25%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式ファンド SR

【特別勘定が投資する投資信託】

シュローダー日本株式オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

## 主要投資対象

日本の株式。主にシュローダー日本株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

## 運用方針

主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を上回る投資成果の獲得を目指します。

## ■ファンド状況

2024年2月29日現在

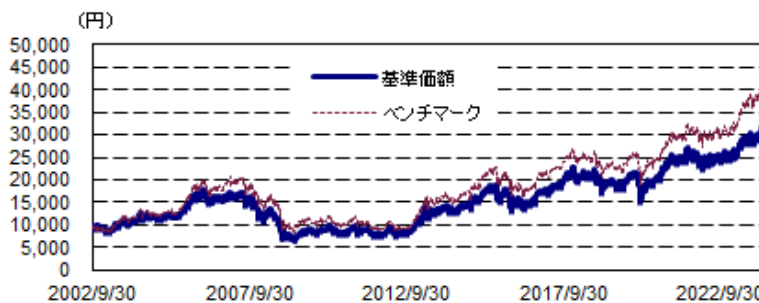
基準価額	32,287円	純資産総額	267(百万円)	組入銘柄数*	77銘柄
------	---------	-------	----------	--------	------

## ■組入状況

組入対象	投資比率
株式	99.64%
東証プライム	97.87%
東証スタンダード	1.67%
東証グロース	0.09%
地方単独	-
その他	-
株式先物	-
キャッシュ等	0.36%
計	100.00%

## ■設定来の基準価額とベンチマークの推移

\* マザーファンドの組入銘柄数



\* ベンチマークはTOPIX(東証株価指数、配当込み)です。  
\* 基準価額は税引前分配金を再投資した場合。

## ■基準価額(税引前分配金再投資)とベンチマークの騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.98%	8.10%	10.44%	24.39%	37.39%	222.87%
ベンチマーク	4.93%	12.87%	16.01%	37.64%	54.38%	337.31%

\* 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。分配金を再投資した基準価額の騰落率です。

## ■東証プライム株式組入上位銘柄

	銘柄名	業種	投資比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.40%
2	ソニーグループ	電気機器	4.39%
3	日本電信電話	情報・通信業	4.13%
4	豊田自動織機	輸送用機器	3.55%
5	スズキ	輸送用機器	3.54%
6	第一生命ホールディングス	保険業	3.25%
7	伊藤忠商事	卸売業	3.14%
8	オリックス	その他金融業	3.08%
9	東京海上ホールディングス	保険業	2.67%
10	SMC	機械	2.53%

## ■東証プライム以外の株式組入上位銘柄

	銘柄名	業種	投資比率
1	ハーモニック・ドライブ・システムズ	機械	0.61%
2	セブテーニ・ホールディングス	サービス業	0.45%
3	OBARA GROUP	電気機器	0.41%
4	NITTOKU	機械	0.20%
5	ステムリム	医薬品	0.09%

※投資比率は、マザーファンドの投資比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率より算出しております。

## ■対ベンチマーク オーバーウェイト業種

	業種名	投資比率	ベンチマーク
1	情報・通信業	15.89%	7.53%
2	保険業	7.53%	2.59%
3	その他金融業	4.62%	1.18%
4	機械	8.80%	5.47%
5	建設業	4.84%	1.99%

## ■対ベンチマーク アンダーウェイト業種

	業種名	投資比率	ベンチマーク
1	電気機器	14.00%	17.47%
2	食料品	0.00%	3.11%
3	陸運業	0.00%	2.59%
4	サービス業	2.16%	4.55%
5	精密機器	0.00%	2.34%

## ■過去の分配実績(税引前)

決算期	分配金
第18期(2019年11月20日)	0円
第19期(2020年11月20日)	0円
第20期(2021年11月22日)	0円
第21期(2022年11月21日)	0円
第22期(2023年11月20日)	0円

設定来累計	0円
-------	----

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式ファンド SR

【特別勘定が投資する投資信託】

シュローダー日本株式オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

## 主要投資対象

日本の株式。主にシュローダー日本株式マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

## 運用方針

主に日本の株式等に投資し、企業の成長性と株価の割安性を考慮した銘柄選定をすることによって、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を上回る投資成果の獲得を目指します。

## ■マンスリー・コメント

2月は第3四半期決算において企業業績の堅調さが確認されたことに加え、世界的に半導体関連株が買われる中で堅調な動きとなり、外国人投資家の買いが相場を牽引して大幅上昇となりました。月の前半は、円安の恩恵もあり好決算となった自動車関連や自社株買いの発表など株主還元の強化を打ち出した主力大型株などを中心に買われ、上昇基調で推移しました。後半に入ると、米国株がハイテク関連銘柄の好決算を受けて上昇する中、日本株も半導体製造装置メーカーなど半導体関連が相場を牽引して一段高の展開となりました。22日には日経平均が終値ベースで3万9,000円台に乗せ、史上最高値を更新しました。結局、月間でTOPIX(配当込み)は+4.9%と、前月に続いて大幅上昇となりました。

東証33業種別騰落率ですが、上位5業種については、輸送用機器がトップ、保険、石油・石炭製品、証券・商品先物取引、その他金融が続きました。一方、下位5業種は、繊維製品がトップ、続いて、海運、食料品、電気・ガス、建設となりました。今月もサイズ別では大型株が小型株をアウトパフォーム、大型株優位の相場が継続しました。

日本企業の業績に関してですが、第3四半期の決算については事前予想を上回る増益率が確保され、堅調な内容となりました。また、来年度についても過去最高益の更新が見込まれる状況です。一方、マクロ面では、各国中央銀行による金利引き上げに伴う世界景気の減速懸念があり、米国では商業用不動産市況の下落に伴う悪影響が懸念されています。日本株については、企業の設備投資は比較的堅調に推移しており、インバウンドを含めた内需の回復などを見込める状況ですが、近く日銀のマイナス金利解除が見込まれる中で、高値圏でのみみ合いを予想します。

日本企業は、2023年における自社株の取得枠が過去最高の9.6兆円となり、株主還元姿勢についてポジティブな変化が見られています。東証は資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応を求めており、持合い株の解消や株主還元の積極化などガバナンス改革は中期的に進展すると判断できることから、日本株固有の支援材料になると見えています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。  
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。  
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 NKA

【特別勘定が投資する投資信託】

インデックスファンド225 VA (適格機関投資家向け)

【運用会社】

日興アセットマネジメント株式会社

## 主要投資対象

日本の上場株式。主にインデックスマザーファンド225受益証券を通じて投資が行われます。

## 運用方針

「インデックスマザーファンド225」受益証券を主要投資対象とします。同マザーファンドにて主に日本の上場株式に投資して「日興バラ 日本株式モデル」を活用してポートフォリオを構築することにより、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果の獲得を目指します。

## 基準価額と純資産総額

基準価額	54,179円
純資産総額	18.73億円

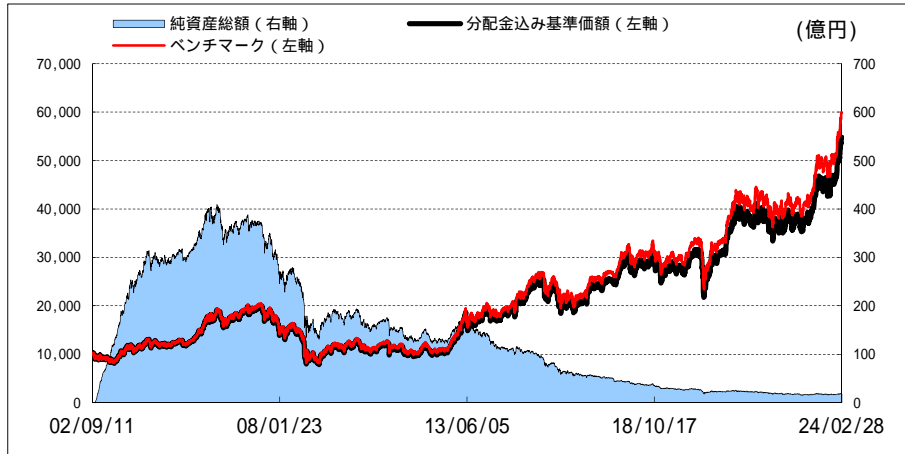
## 資産構成

株式	99.65%
株式先物	0.34%
株式実質	99.99%
現金その他	0.35%
プライム	99.65%
スタンダード	0.00%
グロース	0.00%
その他	0.00%

当ファンドの実質の組入比率です。

## 基準価額の推移グラフ

基準日 2024年2月29日



基準価額、ベンチマークは、設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

ベンチマークは日経平均トータルリターン・インデックスです。

2023年9月16日に、当ファンドのベンチマークを「日経平均株価(225種・東証)」から「日経平均トータルリターン・インデックス」に変更しました。

## ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3か月間	6か月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	17.11%	20.96%	45.12%	12.32%	14.64%	11.84%	8.25%
ベンチマーク収益率	17.21%	21.20%	45.72%	12.81%	15.14%	12.33%	8.71%
差異	-0.10%	-0.24%	-0.60%	-0.49%	-0.50%	-0.49%	-0.46%
ファンドリスク(分配金再投資)			15.49%	15.38%	16.99%	16.30%	18.35%
ベンチマークリスク			15.49%	15.37%	17.00%	16.30%	18.35%

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満(3か月間、6か月間)は、年率換算していません。

※ファンド(分配金再投資)の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入(再投資)し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

## 株式組入上位10業種

業種名	ファンドのウェイト	ベンチマークのウェイト
1 電気機器	28.47%	28.56%
2 小売業	12.97%	13.01%
3 情報・通信業	10.26%	10.29%
4 化学	6.63%	6.65%
5 医薬品	5.82%	5.84%
6 輸送用機器	4.81%	4.83%
7 機械	4.44%	4.45%
8 サービス業	4.00%	4.02%
9 精密機器	3.74%	3.75%
10 卸売業	3.28%	3.29%

ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

## 株式組入上位10銘柄(組入銘柄数 225銘柄)

銘柄名	ファンドのウェイト	ベンチマークのウェイト
1 ファーストリテイリング	11.00%	11.03%
2 東京エレクトロン	9.37%	9.40%
3 アドバンテスト	4.68%	4.70%
4 ソフトバンクグループ	4.47%	4.48%
5 信越化学工業	2.71%	2.72%
6 KDDI	2.32%	2.32%
7 TDK	1.98%	1.99%
8 テルモ	1.98%	1.98%
9 ファナック	1.85%	1.86%
10 ダイキン工業	1.79%	1.80%

ファンドのウェイトはマザーファンドの対純資産総額比です。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド MS

【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンド

【運用会社】

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

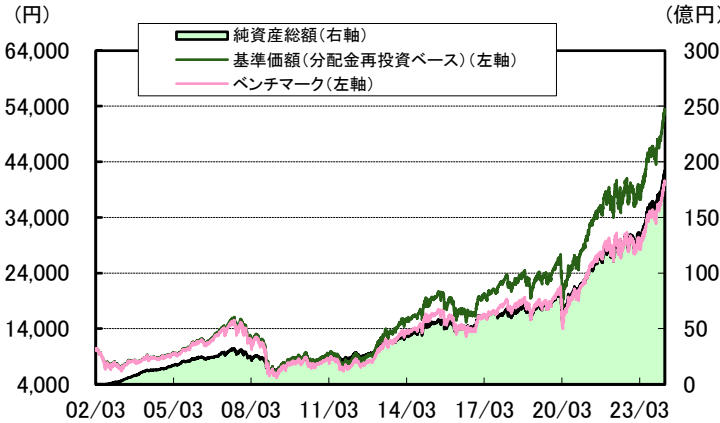
## 主要投資対象

日本を除く世界の先進国の株式。主にMSCIコクサイ・インデックス・マザーファンドを通じて投資が行われます。

## 運用方針

主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動した投資成果を目指します。

## 運用実績



\*過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。

\*基準価額は税引前配当再投資の基準価額です。

\*基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は純資産総額に対して年率0.77%(税抜0.70%)です。

\*ベンチマークは、簡便法(基準日前日のドル建指数を基準日のドル円TTMレートで評価する方法)で算出した後、ファンドの設定日のベンチマークと基準価額を同値として指数化しています。

\*ベンチマークはMSCI コクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)です。

\*2023年10月6日に、当ファンドのベンチマークを「MSCI コクサイ・インデックス(円換算ベース)」から「MSCI コクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)」に変更しました。

## 累積リターン

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来(月次)	設定来
ファンド	4.75%	12.93%	14.63%	36.11%	78.39%	133.22%	415.16%	434.27%
ベンチマーク	4.81%	13.16%	14.90%	35.47%	74.57%	121.03%	290.58%	-

\*ファンドの累積リターンは、税引前配当再投資により算出しています。信託報酬控除後のリターンです。

\*ベンチマークの累積リターンは、ファンドの基準価額算出方法と同一基準(基準日前日の各外貨建資産を基準日の各通貨毎のTTMレートで評価する方法)で月次ベースでのみ算出しています。尚、2009年5月1日より日次ベースでの算出に変更しています。

## 組入株式上位10銘柄(マザーファンド)

銘柄	名	国	名業	種	比率
1	MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス		4.6%
2	APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器		4.5%
3	NVIDIA	アメリカ	半導体・半導体製造装置		3.1%
4	AMAZON.COM	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り		2.6%
5	META PLATFORMS-A	アメリカ	メディア・娯楽		1.7%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽		1.3%
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽		1.1%
8	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス		1.0%
9	TESLA	アメリカ	自動車・自動車部品		0.9%
10	BROADCOM	アメリカ	半導体・半導体製造装置		0.9%

\*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。

\*業種はベンチマークで採用している分類に準じています。

## 基準価額・純資産総額

2024年2月29日現在

基準価額 53,427(円)

純資産総額 19,194(百万円)

\*基準価額は信託報酬控除後です。

## 収益分配金の推移(直近4期)

期	分配金
第19期 (2020.11.19)	0円
第20期 (2021.11.19)	0円
第21期 (2022.11.21)	0円
第22期 (2023.11.20)	0円
設定来累計	0円

\*税引前分配金です。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

## 資産構成比率(マザーファンド)

株	式	比率
株	式	93.9%
先物取引		5.8%
現金		0.2%

\*現金他は比率は、純資産総額から組入有価証券評価額を差し引いて算出していますので一時的にマイナスになることがあります。

※株式には、投資信託証券などが含まれます。

## 組入株式上位5カ国(マザーファンド)

国	名純資産比率
1 アメリカ	70.9%
2 イギリス	3.8%
3 フランス	3.2%
4 カナダ	3.0%
5 スイス	2.5%

## 組入株式上位5業種(マザーファンド)

業	種純資産比率
1 ソフトウェア・サービス	9.8%
2 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.7%
3 半導体・半導体製造装置	7.5%
4 資本財	6.5%
5 金融サービス	6.4%

\*業種はベンチマークで採用している分類に準じています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。



# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

外国株式インデックスファンド MS

【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCIロクサイ・インデックス・ファンド

【運用会社】

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

## 主要投資対象

日本を除く世界の先進国の株式。主にMSCIロクサイ・インデックス・マザーファンドを通じて投資が行われます。

## 運用方針

主に日本を除く世界先進国の株式に投資し、MSCIロクサイ・インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)に連動した投資成果を目指します。

## 運用環境

### 米国

2月の米国株式市場は上昇しました。月初、1月の米雇用統計が市場予想を上回って好調であったこと、景気の先行きに楽観的な見方が広がったことなどが好感され、株式市場は堅調に推移しました。月央には、1月の米消費者物価指数(CPI)や生産者物価指数(PPI)の伸び率が市場予想を上回ったことが重石となったものの、米景気のソフトランディング期待が根強いことを背景に、株式市場は高値圏で推移しました。その後、米半導体大手の決算内容が市場予想を大きく上回ったことを受け、株式市場は騰勢を強め、月末を迎えました。

### 欧州

2月の欧州主要株式市場は、市場によって異なる展開となりました。大陸欧州では、月初、欧州主要企業の決算発表を手掛かりに、個別銘柄を物色する動きが優勢だったものの、複数の欧州中央銀行(ECB)高官が早期利下げ見通しを牽制したこと、欧州の国債利回りが上昇したことなどを背景に、株式市場は上値が重い展開で推移しました。その後、欧州主要企業の決算発表が好調だったことを受け、月後半は上昇基調となり、高値圏で月末を迎えました。英国では、月央に発表された2023年10-12月期の国内総生産(GDP)速報値が2四半期連続でマイナス成長となり、景気後退入りしたことが嫌気され、株式市場はわずかに下落しました。

### アジア

2月のアジア主要株式市場は上昇しました。香港株式市場は、月初、中国経済の先行き不透明感や、米中対立への警戒から売られやすい展開となったものの、月後半には中国当局が不動産支援策を表明し、不動産関連株が買われたことなどが好感され、上昇しました。オーストラリアでは、月初、オーストラリア準備銀行(RBA)が2会合連続で政策金利の据え置きを決定したこと、月後半に発表された2023年10-12月期の賃金指数が市場予想を上回ったことなどが好感され、株式市場は上昇しました。日本では、月初、日銀副総裁が緩和的な金融環境を維持する方針を示したこと、個別企業の良好な決算内容が好感されたこと、その後、半導体関連銘柄を中心に買いが広がったことを受け、日経平均株価が史上最高値を更新するなど、株式市場は大きく上昇しました。

## 今後の見通し

2月の世界の主要株式市場は、主に、①米大手半導体企業の好決算が、主要株式市場の上昇にプラスに作用したこと、②高金利下でも、米国経済はソフトランディングするとの見方が広がったこと、③イスラエルーハマス紛争、ウクライナ紛争など地政学リスクの高まりが沈静化したことなどを背景に、堅調に推移しました。世界主要株式市場は、堅調に推移していますが、引き続き金利・インフレ動向、各中央銀行の金融政策、地政学リスクの台頭等を背景に、金融市場の変動性は高止まりする可能性があると考えています。しかし、中期的な観点では、インフレ圧力の落ち着きとともに、株式市場は緩やかな上昇基調で推移すると見ております。

・ファンド・マネジャーのコメントは、将来の市場環境を保証するものではなく、このため、将来の投資成果等を保証するものではありません。将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。本書は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性あるいは完全性は保証されていません。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

## アジア株式ファンドJP

【特別勘定が投資する投資信託】

GIMアジア株・アクティブ・オープンVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

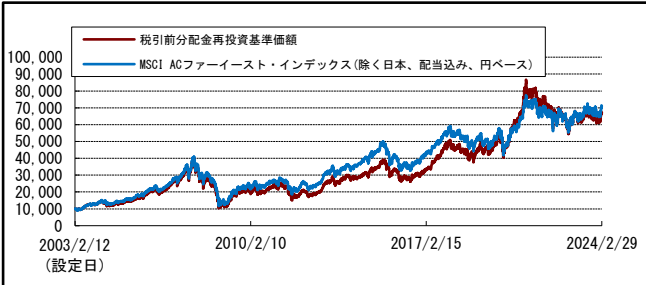
### 主要投資対象

主に日本を除くアジア各国の株式に投資するGIMアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。

### 運用方針

主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。

### 設定来の基準価額(税引前分配金再投資)およびMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)の推移



- MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)は、設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は、信託報酬率 年率1.10%+消費税で計算した信託報酬控除後の数値です。

### ファンド情報

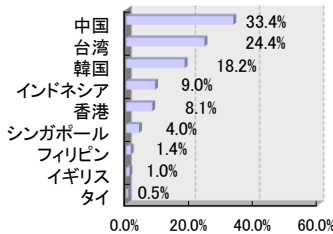
騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	6.7%	2.5%	0.6%	3.7%	-17.9%	47.5%	567.6%
ベンチマーク	7.1%	3.5%	2.8%	9.5%	-4.6%	35.2%	609.1%
基準価額	66,763円			月中高値(2月26日)	67,424円		
				月中安値(2月1日)	61,541円		
株式等実質組入比率(マザーファンド)	97.76%			コール・ローン等(マザーファンド)	2.24%		
純資産総額	22.16億円			組入銘柄数(マザーファンド)	46		
為替ヘッジ比率	0.00%						

### <分配金(税引前)の推移>

設定来合計	第11期 2013年11月	第12期 2014年11月	第13期 2015年11月	第14期 2016年11月	第15期 2017年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円
第16期 2018年11月	第17期 2019年11月	第18期 2020年11月	第19期 2021年11月	第20期 2022年11月	第21期 2023年11月
0円	0円	0円	0円	0円	0円

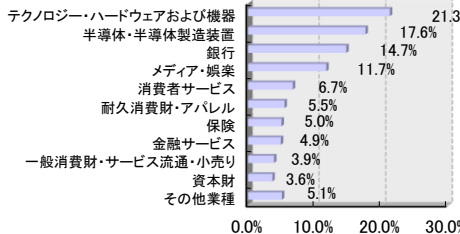
- 騰落率については、基準価額に税引前分配金を再投資したものと計算しております。
- ベンチマークはMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)を採用し、設定日の前営業日を基準値としております。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
- 分配金は過去の実績であり将来の成果を保証しません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

### 国(地域)別構成比率(マザーファンド)



- 国(地域)別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 比率は組入株式等を100%として計算しております。

### 業種別構成比率(マザーファンド)



- 業種については、GICS分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 比率は組入株式等を100%として計算しております。

### 商品概要

- 信託期間: 無期限
- 決算日: 原則11月15日(休業日の時は翌営業日)
- 当初設定日: 2003年2月12日

MSCI ACファースト・インデックスは、MSCI Inc. が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性及び完結性を MSCI Inc. は何ら保証するものではありません。著作権は MSCI Inc. に帰属しております。MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

### 組入上位10銘柄(マザーファンド)

(2024年1月31日現在)

銘柄	国(地域)別	業種	比率
1 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	半導体・半導体製造装置	9.9%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.7%
3 TENCENT HOLDINGS LIMITED	中国	メディア・娯楽	7.1%
4 SK HYNIX INC	韓国	半導体・半導体製造装置	4.8%
5 AIA GROUP LTD	香港	保険	3.9%
6 PT BANK CENTRAL ASIA TBK	インドネシア	銀行	3.1%
7 BANK RAKYAT INDONESIA PERSERO TBK PT	インドネシア	銀行	3.0%
8 DELTA ELECTRONICS INC	台湾	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.6%
9 DBS GROUP HOLDINGS LTD	シンガポール	銀行	2.6%
10 SAMSUNG ELECTRO-MECHANICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.4%

- 株式組入上位10銘柄については、開示基準日以外の情報と異なります。
- 国(地域)別については、MSCI分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 業種については、GICS分類に基づき分類しておりますが、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。
- 比率は対純資産で計算しております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

## 【特別勘定名】

アジア株式ファンドJP

## 【特別勘定が投資する投資信託】

GIMアジア株・アクティブ・オープンVA(適格機関投資家専用)

## 【運用会社】

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

## 主要投資対象

主に日本を除くアジア各国の株式に投資するGIMアジア株・アクティブ・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。

## 運用方針

主に日本を除くアジア各国の株式に投資し、MSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当込み、円ベース)を上回る投資成果の獲得を目指します。

## 市場概況

2月のMSCI ACファースト・インデックス(除く日本、配当なし、現地通貨ベース)は前月末比+6.6%となりました。世界株式市場は、底堅い経済データや、強い業績発表を背景に上昇しました。アジア株式市場は、中国の旧正月連休中の消費支出が予想を上回る水準となったことで投資家心理が改善したことや、中国人民銀行が市場予想を上回る利下げを実施したことから、上昇しました。また、韓国は、政府が発表したバリュアアップ・プログラム(政府主導の市場の低バリュエーション(価格評価)を是正するための対策)を背景とした、海外投資家からの資金流入を受けて、上昇しました。

## 運用状況

当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資)騰落率は+6.7%となり、ベンチマークの+7.1%を下回りました。

<対ベンチマーク要因分析>

### ▼主なマイナス要因(対ベンチマーク)

・韓国の銘柄選択:韓国においても政府主導で市場の低バリュエーションを是正するバリュアアップ・プログラムが提唱され、低PBR(株価純資産倍率)銘柄が大きく上昇。また、一部半導体銘柄はAI(人工知能)の需要を捉えきれないと言われ、半導体関連が上昇する中でアンダーパフォーム。

## 市場見通しと運用方針

サプライチェーン制約やエネルギー価格高騰、コモディティ供給不足といった問題が改善しつつある中、インフレ率は世界的に低下傾向が続いています。FRB(米連邦準備制度理事会)の金融政策はインフレ率等のデータ次第で判断するとしているものの、利上げサイクルは最終局面に近づいていると見られる中で、多くのアジアの中央銀行には政策金利の据え置き又は利下げ実施余地が生じています。利下げは国内の経済成長を促進するほか、預金金利の低下により国内投資家からの株式への資金流入が期待されるため、アジア株式市場の支援材料になると見えています。

中国経済は数年に亘る調整の段階にあり、特に不動産と製造業の低迷が経済活動全体の重石となっています。一方で、国内消費と投資家心理のより緩やかな回復は、その後の商品とサービスの需要回復が長期化することを意味すると考えており、政府も内需の拡大を目的とした政策支援に注力しています。また、現状の株価収益率は過去最低水準に近いと見られ、今後業績改善が見られた場合は株価の押し上げ要因になると考えます。

他のアジア各国の見通しについて、インドとインドネシアは政府による投資促進に向けた政策支援が支援材料となっているほか、テクノロジー企業の影響が大きい韓国や台湾などの北アジアは今後10年間の大きなトレンドである、AIやクラウドサービス、電気自動車の普及などの恩恵を受けており、今後益々成長を牽引していくと考えます。米国の景気後退と世界需要の低迷リスクは依然として残るものの、アジアの企業は国内の経済活動の回復や脱炭素などの変革に伴う設備投資の需要を取り込み、更なる成長が期待されています。

アジア株式市場は、短期的に景気回復の遅れは見られているものの中国経済の中長期的な成長や、世界各国の中央銀行の利下げ、更には米ドルの下落などに支えられ、魅力的な投資機会があると考えています。

当ファンドにおいては、引き続き成長性があり、かつ株価が割安と判断される銘柄を中心に投資を行う方針です。

・上記運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。

・MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】  
外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】  
ビムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】  
ビムコジャパンリミテッド

## 主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

## 運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

[追加型証券投資信託 / ファンドオブファンズ]

[設定日] 2002年9月24日

[基準価額] 24,572 円

[決算日] 毎年9月25日

## 1. パフォーマンス



## 騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	設定来
ファンド*	1.17%	3.20%	5.84%	15.20%	7.11%	4.28%
ベンチマーク**	1.24%	3.10%	5.53%	15.39%	7.60%	3.86%
超過収益	-0.07%	0.10%	0.31%	-0.19%	-0.49%	0.42%

\*信託報酬控除後、1年を超える期間は年率換算してあります。

\*\*2022年12月15日以降はFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)。

それ以前は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)90%、ICE BofA TONAR オーバーナイトレートインデックス10%を合成したものを使用しています。

## 分配実績

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期		
日付	03/09/25	04/09/27	05/09/26	06/09/25	07/09/25	08/09/25	09/09/25	10/09/27	11/09/26	12/09/25		
金額	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円		
	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	累計
日付	13/09/25	14/09/25	15/09/25	16/09/26	17/09/25	18/09/25	19/09/25	20/09/25	21/09/27	22/09/26	23/09/25	-
金額	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

PIMCO

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】  
外国債券ファンド PJ

【特別勘定が投資する投資信託】  
ビムコ・海外債券ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】  
ビムコ ジャパン リミテッド

## 主要投資対象

日本を除く世界各国の各種公社債。

## 運用方針

主に世界各国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

## 2. ファンド特性

### 【ファンドの一般的特性】

平均クーポン	3.79%
平均直接利回り	4.01%
平均最終利回り	4.48%
平均デュレーション(年)	6.39
平均償還期間(年)	8.16
平均格付け*	AA+
債券組入比率	99.41%

\*平均格付けとは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

### 【格付構成比】

格付	組入比率
AAA	76.30%
AA	6.00%
A	10.65%
BBB	6.96%
BB以下	0.10%
A1/P1	0.00%
A2/P2	0.00%
合計	100.00%

### 【国別配分】

国名	組入比率
アメリカ	35.92%
ユーロ圏	35.21%
イギリス	11.84%
オーストラリア	5.98%
中国	4.46%
カナダ	3.68%
デンマーク	1.81%
その他	1.11%
合計	100.00%

### 【種類別配分】

セクター名	組入比率
国債、エージェンシー債	66.66%
モーゲージ債、アセットバック債	16.02%
社債	5.02%
キャッシュ等*	12.30%
合計	100.00%

\*「キャッシュ等」にはCP等も含まれます。

## 3. 運用担当者のコメント

### 《市場コメント》

米国債券相場は、月初、1月末に発表された米地銀の赤字決算を背景に金融不安が再燃したことから上昇して始まったものの、1月の米雇用統計が市場予想を大幅に上回ると下落に転じました。その後も、1月の米CPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことや、1月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨においてFRB(米連邦準備制度理事会)の早期利下げに対する慎重姿勢が改めて確認されたことなどが下落要因となり、月を通じてみると米国債券相場は下落しました。(2年債利回りは前月比0.41%上昇、10年債利回りは前月比0.34%上昇しました。)欧州債券相場は、月前半、市場予想を上回った1月のユーロ圏コアインフラ率などを背景にECB(欧州中央銀行)高官が早期利下げに対して慎重な見方を示したことから下落しました。月後半にかけても、2月のユーロ圏総合PMI(購買担当者景気指数)の改善を受けて域内の景況感が持ち直しているとの見方が広がるなか、上値の重い展開が続きました。月を通じてみると欧州債券相場は下落しました。(2年債利回りは前月比0.47%上昇、10年債利回りは前月比0.25%上昇しました。)英国債券相場は、月前半、2023年9-11月の英失業率の下方修正や1月の英雇用統計における賃金上昇率の上振れなど、雇用環境の改善を背景に下落しました。その後も、1月の英小売売上高が約3年ぶりの大幅な伸びを記録したほか、2月の英総合PMIも堅調な内容となったことを受け、早期利下げ観測が後退し、一段と下落しました。月を通じてみると英国債券相場は下落しました。(2年債利回りは前月比0.04%上昇、10年債利回りは前月比0.33%上昇しました。)日本債券相場は、根強い日銀の政策修正観測や米国の金利上昇などが重しとなった一方、日経平均株価が過去最高値を更新する中で機関投資家によるリバランスに伴い株売り・債券買いが増えるとの思惑などが下支えとなり、月を通じてみると上昇しました。(2年債利回りは前月比0.10%上昇、10年債利回りは前月比0.02%低下しました。)

### 《パフォーマンス》

先月のパフォーマンスはプラス1.17%となり、ベンチマークを0.07%下回りました。米国の金利リスクを少なめとしたことがプラスに寄与した一方、英国やカナダの金利リスクを多めとしたことがマイナスに寄与しました。

### 《今月の運用方針》

2023年、主要先進国は当初の想定を上回る経済成長率を達成したものの、2024年は景気後退もしくは緩やかな景気減速となることを予想しています。インフレ率の低下に伴い、欧米では利上げサイクルは終了した可能性が高く、市場では利下げの開始時期やそのペースに注目が集まっています。PIMCOは、日本以外の先進国では2024年半ばに利下げが開始され、日本については緩やかなペースでの利上げが模索されると予想しています。歴史的には、失業率の上昇など景気後退が明確に確認できるまで中央銀行は利下げを開始しない傾向にあるため、利下げの開始時期は市場の想定よりも遅くなる可能性が高いものの、一旦利下げを開始した場合には市場の予想よりも積極的に政策金利を引き下げるとみられています。米国については、FRBによる積極的な金融引き締め、米地方銀行の経営破綻、地政学リスクの高まりといったマイナス要因にも関わらず、2023年の景気は底堅いものとなりました。2024年の成長率は2023年に比べて低下するとみられているものの、過去の低金利時において長期固定金利での住宅ローンの借入れを行った世帯の割合が多いことから金利上昇が消費に与えるマイナスの影響が相対的に少ないため、他の主要先進国対比では底堅い成長を予想しています。コロナショックにより停滞がみられたサプライチェーン(供給網)の改善が引き続きインフレ圧力の緩和に繋がる一方、生産性が大幅に改善しない限り、労働市場の逼迫などによる賃金への上昇圧力を背景にインフレ率はFRBの目標水準を上回って推移する可能性が高いとみられています。なお、PIMCOでは、失業率の上昇などによる景気の悪化を背景に2024年半ばには利下げが開始されるとみられています。ユーロ圏については、中国との貿易が低迷していることやロシアによるウクライナ侵攻を背景としたエネルギー・ショックによる影響が長期化していることに加えて、エネルギー関連措置の撤廃などに伴い引き締めの財政政策が想定されることなどから、2024年はマイナス成長に陥る可能性が高いとみられています。金融政策については、域内のインフレ率の低下や景気見通しの悪化を背景に利上げ局面は終了したとみっていますが、同地域のインフレ率がECBの目標値である2%にまで低下するには相應の時間を要することから、政策金利は当面は据え置かれ、利下げに転じるのは2024年半ばになるものと考えています。ファンドの運用に際しては、他主要国対比で投資妙味が高いと考えられるオーストラリアや英国、カナダの金利リスク量を若干多めにする一方、米国や欧州、中国の金利リスクを少なめとし、全体では金利リスクを少なめとします。セクター戦略については、リスクを考慮しても魅力的な利回りを提供すると考えられる金融債などの社債に選択的に投資します。また、インフレ率が高まる可能性があることから米物価連動債も選択的に保有を継続します。

\* 将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

市況データ出所:ブルームバーグ

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。  
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。  
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】  
外国債券インデックスファンド TMY

【特別勘定が投資する投資信託】  
三菱UFJ 外国債券ファンドVA2 (適格機関投資家限定)

【運用会社】  
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

## 主要投資対象

日本を除く世界主要国の公社債。主に外国債券インデックスマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

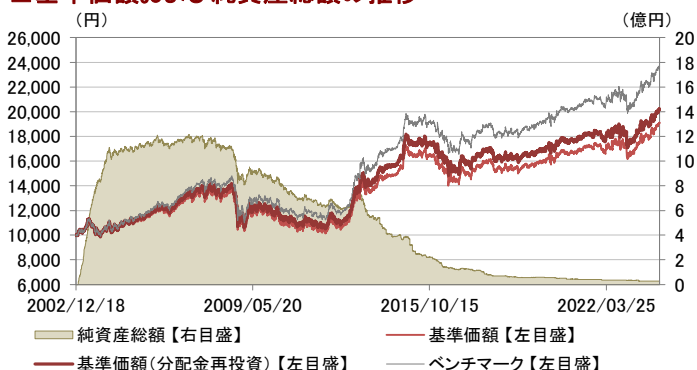
## 運用方針

主に日本を除く世界主要国の公社債に投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に連動する投資成果の獲得を目指します。

## 商品概要

主要投資対象	外国債券インデックスマザーファンド受益証券(外国の公社債に直接投資することもあります。)
運用方針	①外国債券インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース))に連動する投資成果を目指して運用を行います。2021年11月末基準より外国債券部分に係るベンチマークをFTSE Fixed Income LLCより提供されている円ベースの指数から当社で円換算した指数に変更しました。 ②外国債券インデックスマザーファンドは、日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。 ③日本を除く世界主要国の公社債に直接投資することもできます。 ④外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。ただし、市況動向等の判断により、為替ヘッジを行う場合があります。
設定日	2002年12月8日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月20日(休業日の場合、翌営業日)

## 基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。  
・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。  
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

## 騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.2%	3.0%	4.7%	14.1%	15.1%	102.1%
ベンチマーク	1.3%	3.2%	5.2%	15.1%	17.5%	137.1%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。  
また、換金時の費用・税金等は考慮していません。  
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。  
・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

## 組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	46.6%
2 中国	8.4%
3 フランス	8.1%
4 イタリア	7.3%
5 ドイツ	6.3%
6 イギリス	5.2%
7 スペイン	4.9%
8 カナダ	2.0%
9 ベルギー	1.7%
10 オランダ	1.4%

## 組入上位10銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 4.5 T-NOTE 331115	国債	4.5000%	2033/11/15	アメリカ	0.5%
2 3.875 T-NOTE 330815	国債	3.8750%	2033/08/15	アメリカ	0.4%
3 4.125 T-NOTE 321115	国債	4.1250%	2032/11/15	アメリカ	0.4%
4 3.375 T-NOTE 330515	国債	3.3750%	2033/05/15	アメリカ	0.4%
5 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.4%
6 3.5 T-NOTE 330215	国債	3.5000%	2033/02/15	アメリカ	0.4%
7 1.875 T-NOTE 320215	国債	1.8750%	2032/02/15	アメリカ	0.4%
8 2.875 T-NOTE 320515	国債	2.8750%	2032/05/15	アメリカ	0.4%
9 0.875 T-NOTE 301115	国債	0.8750%	2030/11/15	アメリカ	0.4%
10 1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.4%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を唆るものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。  
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。  
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

## 基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	19,099円
前月末比	+235円
純資産総額	0.27億円

## 分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/02/20	0円
第21期	2023/02/20	0円
第20期	2022/02/21	0円
第19期	2021/02/22	0円
第18期	2020/02/20	0円
第17期	2019/02/20	0円
設定来累計		730円

## 資産構成

	比率
実質外国債券	99.0%
内 現物	99.0%
内 先物	0.0%
コールローン他	1.0%

## ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.8%
直接利回り	2.6%
デュレーション	6.4

## 残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.7%
1~3年	28.1%
3~5年	21.0%
5~7年	13.0%
7~10年	13.1%
10年以上	23.2%

# 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】  
マネー MA

【特別勘定が投資する投資信託】  
三菱 MRF(マネー・リザーブ・ファンド)

【運用会社】  
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

## 主要投資対象

国内外の公社債、コマーシャル・ペーパーを主要投資対象とします。

## 運用方針

主に信用度が高く残存期間の短い日本国内外の公社債、CP等の短期金融商品に投資することによって、安定した収益の確保を目指します。

## ■ファンドの特色

信用度が高く、残存期間の短い内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

## ■資産構成

	評価金額(円)	比率
公社債	0	0.0%
（うち固定債）	(0)	0.0%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	0	0.0%
（うちコールローン）	(0)	0.0%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(0)	0.0%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	64,180,064,890	100.0%
純資産総額	64,180,064,890	100.0%

・公社債は、国債、地方債券、特殊債証券を除く。  
・固定債：変動利付債以外の債券。  
・CD等は、CD、コールローン(国債等を担保とする有担保コールを除く)、指定金銭信託等。  
・その他資産は、指定金銭信託、未収金、未払金等。

## ■直近7日間の年換算利回りの推移



## ■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 0銘柄

順位	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

## ■債券種別比率

種別	比率

債券の組入れはありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。原則として、比率は純資産総額に対する割合です。比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。  
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。  
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。